

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

顧客に近づき個人のニーズに深く入り込む 松井 忠三 (良品計画会長)

1. 顧客のモノに対する考えはより厳しくなっている。品質、機能、デザインの良さと価格の安さは両立しないというトレードオフから、価格、品質、機能、デザインのすべてを満たすトレードオンへと考えが変化している。そうした状況でモノを売っていくことはとても厳しい。だが、チャンスはある。顧客は自分のライフスタイルに照らしてより合理的に物事を考えるようになっており、それに合致した商品であれば支持される。顧客からは「モノがたくさんある生活は嫌だ。でも必要な時にはすぐに使いたい」という声が聞こえてくる。モノを何も持たないのではなく、最小限のモノをどう合理的に持つかを志向しているということだろう。
2. 「モノからコトへ」と言われるように、モノを買うよりも、旅行や食事にお金を費やす消費行動も見られるようになった。そこでモノが売れなくなると考えるのではなく、コトへのニーズに対応していく。コトを過ごすためにもモノは要る。そこに注目し、商品を開発してきた。旅行であれば、着替えや洗面用具などをコンパクトに持ち運べるバッグを商品化した。レジャー用には、小型のバーベキューコンロなどを商品ラインアップに組み込んでいる。
3. 消費の世界は、作り手ではなく、買い手が今後ますます主導していくと感じている。より顧客に近づき、多様化する個人のニーズに深く入り込んでいかないと企業は生き残っていけないだろう。

(参考:「日経ビジネス」2009年5月25日号)

経営者のための理念・哲学

企業とは経済的存在を超えた社会的存在
(P. F. ドラッカー)

1. 大英帝国の名宰相ウィンストン・チャーチルが絶賛した 1939 年のドラッカーの処女作「経済人の終わり」という経済人とは、経済を目的とし、経済のために生まれ、経済のために生き、経済のために死ぬというエコノミック・マン、すなわち、エコノミック・アニマルを意味した。それは経済至上主義の終焉の宣言でもあった。ドラッカーにとって、経済も経営も、社会的存在としての人間の幸せのための手段にすぎなかった。人を幸せにしない経営は、人にとっても意味がないように、ドラッカーにとっても意味がなかった。
2. 経済至上主義を超えるものを求めた現在社会の哲人ドラッカーは、次のように語る。「確かに企業の目的は、顧客を創造し、富を創造し、雇用を創出することにある。しかし、それらのことができるのは、企業そのものがコミュニティとなり、そこに働く一人ひとりの人間に働き甲斐と位置づけと役割を与え、経済的な存在であることを超えて社会的な存在となりえたときだけである」。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2009年6月6日号)

海外事情

不満高まる雇用問題 (アメリカ)

1. 今年に入り全米の失業率は上昇を続けている。7月末現在の失業率は9.4%台だが、カリフォルニア、オレゴンなど西部の州では10%を超えるところも少なくない。そんな中、各州政府は、連邦政府から支給された景気刺激対策資金を雇用増大にあててきた。しかし、ここに来て「雇用は長続きしない」との批判が出てきた。例えば、オレゴン州の場合、1億7600万ドル(約170億円)を支出して3000以上の雇用を生み出した、としているがその継続期間は平均で35時間、わずか1週間という計算になる。
2. オバマ政権では景気刺激対策で生み出された雇用は15万人と公表しているが、州レベルの実態はオレゴンと同じで「何を根拠で雇用増大と言えるのか」との疑問の声もある。オバマ大統領の支持率は下落を続け、7月にはついに60%を切った。景気回復が実現しない限り「チェンジ」で生まれた期待感も減少の一途をたどることになりそうだ。

(参考:「WEDGE」2009年9月号)

古典に学ぶ

目下の人に対する心得

「一箇の人格ができ上がるには、上下という関係から見ますと、自分より上の人に対する心がけと、自分より下の人々に対する心得とに、考えることができましょう。すなわち、敬愛の二字につづまると言えるわけです。ところで、この目下の人に対する思いやりというのは、まず自分自身が、目上の人に対してよく仕えるところから生まれてくると思うのです」

(参考:森信三「修身教授録抄」:致知出版社)